

令和二年度 彙報

○令和二年度行事

文学会春季大会（公開講演会）
中止

文学会秋季大会（総会・研究発表会）

日時…十一月七日（土）オンライン開催
研究発表会

『古事記』ウケヒ神話の読み

——スサノヲの「手弱女を得つ」発言を中心に——

中京大学大学院生 古橋 充行

物語における「人目」

——『源氏物語』から『とりかへばや物語』まで——

中京大学大学院生 頼則 若奈

東寺領山城国上久世庄の領主

——農民間の交渉——

中京大学大学院生 亀井 久美子

豊臣政権下における贈答行為

——豊臣秀吉「御内書」の分析から——

中京大学大学院生 加藤 千沙

文学会特別講演会

日時…三月十三日（土）オンライン開催

大下藤次郎三回忌追悼会における森鷗外

——新資料「大下氏の追悼会へ」（鵜澤四一）が伝える

—— 蘭外の素顔 ——

中京大学文学部教授 酒井 敏氏

古文書を正確に読むこと、深く読むこと

中京大学文学部教授 村岡 幹生氏

文学会後援 学部生による文学部研究会合同発表会

中止

○人事

退職（令和二年三月末）

村岡 幹生（歴史文化学科 日本中世史）

佐々木俊臣（日本文学科 国語教育）

佐藤 隆（日本文学科 上代文学）

文学会より

会費の納入にご協力ください。現行会費は終身五千円です。学生会員は年額一千円です。修了生の方は、既にお納めの会費総額と終身会費との差額をお支払いください。その他、詳細はお問い合わせください。

住所、勤務先等に変更のあった方は、お手数でも文学会までご一報ください。振替用紙にて変更をご連絡いただけます。その旨を明記して下さいますようお願いいたします。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

文学会では、会員の皆様から、「中京大学文学会論叢」への研究論文・実践報告等（四〇〇字詰二〇・五〇枚程度）の投稿をお待ちしております。締め切りは毎年一月一日（手書きの場合は二月二〇日）ですが、常時受け付けておりますので、ふるってご投稿下さい。原稿の採否は編集委員にご一任願います。なお、本誌は基本的に学術リポジトリによりデジタル公開することになりました。公開を望まない会員の方は編集委員までご一報願います。

中京大学文学会会則

第一条 本会は中京大学文学会と称する。

第二条 本会は日本語日本文学、言語表現学、歴史文化学等の研究を目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するために左記の事業を行う。

1 研究会・講演会の開催

2 機関誌の刊行

3 その他本会の目的の達成に必要な事業

第四条 本会の事務局は中京大学文学部内におく。

第五条 本会は左記の会員をもって構成する。

1 本学文学部専任教員

2 本学大学院文学研究科学生

3 本学文学部学生

4 その他本会の趣旨に賛同する者

第六条 本会会員は所定の会費を納める。

第七条 本会には会長一名、幹事若干名、会計監査二名をおく。

1 会長は本会を代表する。

2 幹事は教員、大学院文学研究科学生、文学部学生をもって組織し、本会の運営にあたる。但し、文学部

学生幹事は三・四年生より選出する。

3 会計監査は財務を監査し、総会に報告する。

役員は会員中より選出することとし、総会の承認を必要とする。

第八条

役員の任期は一年とする。但し、重任を妨げない。

第九条

第十条 本会は左記の会議を開く。

1 定期総会（年一回）

2 臨時総会

3 役員会

4 幹事会

第十一条 本会の経費は左記をもってあてる。

1 会費

2 寄附金

3 その他

第十二条 本会の会計年度は、四月一日に始まり、翌年三月三十一日をもって終わる。

付則

第一条

文学部学生および大学院文学研究科学生の会費は年額千円とする。また、本学文学部専任教員、その他本会の主旨に賛同する者の会費は、終身五千円とする。但し、大学院文学研究科修士生の会費は五千円と大学院在学中に納めた会費実績との差額とする。

第二条 会費に関する事項は、別にこれを定める。

第三条 本会則は、総会において出席者の三分の二以上の同意を得て改定することができる。

第四条 本会則は昭和五十六年五月十三日より実施する。

本会則は平成十五年五月二十九日より実施する。

本会則は従来の「中京大学国文学会会則」を学名改称等に伴い改定したものであり、平成二十一年十一月七日から実施し、平成二十一年四月一日に遡って適用する。

本会則は平成二十三年四月一日より実施する。

本会則は平成二十五年四月一日より実施する。

本会則は平成二十六年四月一日より実施する。

本会則は平成二十九年四月一日より実施する。